【サポーターカンファレンス議事録】

開催日：２０２３年1月１５日(日)　１０：００～１２：００
場所：プライフーズスタジアム２階　会議室
参加者：代表取締役会長　細越 健太郎
　　代表取締役社長　下平 賢吾
　　取締役事業統括本部長　菅原 康平
　　強化・地域連携担当　金井 隆太

【菅原】
まず最初に、それぞれのご質問等にお答えさせていただいた後に、最後に改めて質疑応答という形で、お答えした中でわからないことや追加で質問等あればお答えさせていただきます。
それでは、本日、宜しくお願い致します。
では一つずつ、いただいたご質問等回答させていただきます。

『2022 シーズンの葛野監督の続投の経緯、ならびに志垣監督の契約更新に至らなかった経緯について』

こちらは下平から回答させていただきます。

【下平】
ありがとうございます。
まず、監督人事に関してですが、チームの成績と監督の個性など、様々な側面から考えて選定しております。もちろん、勝つことは非常に大切なことですし、勝たなければ昇格はないということは当然のことだと認識しております。プロの監督として就任していただく監督の皆さんにはその部分を必ず求めております。一つご理解いただきたいのは、監督や選手というのは、個人と契約をさせていただいております。その契約の中に様々な条項があるという中で、双方合意した上で契約をさせていただくということになっております。十分議論をしたうえでの結論であると、一方的に何かを決めるということではないということをご理解いただきたいと思います。守秘義務、規定がございますので、契約内容に関してはすべて

をお伝えすることはできませんけれども、今のような前提のことの上で、チームがより前進するために決断しております。それが上手くいくこともそうではないこともあるかと思いますが、その辺のことはご理解いただければと思います。

【菅原】
次の質問です。

『これまでクラブの目標が明確でないように感じた。2023 シーズンの目標についてお答えいだたきたい。』

こちらも下平より回答させていただきます。

【下平】
J3 という舞台に上がってからですが、トップチームの最大の目標は J2 昇格というもので、ライセンスの見通しが立ってから毎年変わっているものではありません。そのように私も内外に示しています。当然、2023 シーズンも同様でございます。これは私たちのクラブに限ったことではなくて、同じリーグのほとんどのクラブが同じ思いで戦っています。昇格するということを大前提に、その上でチーム作りをして、クラブの理念を遂行していくということを前提で地域と共に歩んでいくクラブづくりを前進させるということを常に考えて、2023 シーズンも戦って参ります。

【菅原】
次のご質問です。

『J2 昇格という目標を掲げている中で、現状達成できていない原因と今後の対応についてお聞かせ願いたい。』

こちらも合わせて下平から回答させていただきます。

【下平】
J２昇格を達成できていない要因ですけれども、昨年までは単純に昇格する力がクラブになかったということだと思います。ライセンスが取れても 2 位以内に入ることができなかったというのが一番の要因だと思います。もちろんそれはクラブの力不足でありますし、昇格をしたクラブと私たちのクラブとの差がどこにあるのか、その差をいかに埋めていくことができるかというのを毎年大きな課題としてクラブ内で検討して新しいシーズンに臨んでいるということになる訳であります。先ほども申し上げましたけれども、今シーズンも昇格

するということを最大の目標に掲げて、同じ昇格を目指すクラブに負けないよう準備をしていくということが、今のすべてであると考えております。

【菅原】
次のご質問です。

『SNS の誹謗中傷のリリースについて、具体的にどのようなことがあったのか。』

こちらは私（菅原）が回答させていただきます。
どこからが誹謗中傷でどこからがそうじゃないかというのは、個々人の判断に分かれるところがあるかと思います。我々も今回のリリースを出すにあたって色々な方に相談させていただいている中で、実害があるかどうかということを線引きとさせていただきました。具体的な実害の内容は個人の方のこともあるので詳細なことはお伝えすることができない部分がありますが、本人はこういう世界で働いているのである程度の耐性が出来上がっている部分もありますが、今回その行為でご家族にも精神的な苦痛、ストレスを受けたというのが我々としては実害と判断をし、リリースをする運びとなりました。
ただ、皆様にこれだけはお伝えさせていただきたいのですが、様々な叱咤激励、良いものは良い、悪いものは悪いというご意見に対してこのようなリリースを出したわけではなくて、あくまでも一線を越える行為があった場合、我々も会社としてやっているので、スタッフの安全も守らなければいけない立場だということはご理解いただきたいということで、今回リリースさせていただきました。今後もルールの中で SNS というのはプラスに使えばたくさん良いことがありますので、ぜひ発信していただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次のご質問です。

『組織としての心理的安全性が保たれていますか。』

こちらは下平より回答させていただきます。

【下平】
色々事業ごとに部署も分けております。事業部、アカデミー部、施設管理部など、色々部門分けされております。当然組織図もございます。ここで組織図をお見せすることはできませんけれども、それをベースとして周知して認識しております。各部門のミーティング、全体ミーティングを密に行ってきておりますし、もちろん組織づくりとしてはトップダウンを主としたわけではなく、スタッフの意見を尊重して、さらにブラッシュアップをしていった

ものを上にあげていくという部分が出来ていると思っておりますので、意見頂いたものは真摯に受け止めて、これからに生かしていきたいと思います。

【菅原】
次の質問です。

『ナイトゲームのキックオフ時刻』

に関してましていくつかご質問やご意見いただきましたのでいただいたので、お答えさせていただきます。
ご質問いただきました中で、昨年は土曜日 19 時が基本となっておりましたが、18 時キックオフではどうか、あるいは日曜日の 17 時、18 時、19 時ではどうかと頂いております。
その件について、我々がどのように 19 時に設定したかということを踏まえてお答えさせていただきます。
キックオフの時刻は様々な側面で物事を考えなければいけなくて、もちろん一番は現場のことや、集客の部分であったり、試合の運営を支えていただいているサポートスタッフの皆様のことなど、細かいことを言い出すときりがないのですが、様々な検討事項を踏まえてキックオフ時刻というのは決めさせていただいております。ここ八戸の皆様のことを考えたときに、土曜日でもフルタイムでお仕事をされている方も多くいらっしゃるとかと思います。そういったか方々が 18 時に仕事を終えて、市内あるいは市外からスタジアムまで車で移動してくるとなると 18 時には間に合わないという声を頂いているというのも実際にございます。総合的に判断をして、今は 19 時キックオフのほうが良いだろうという判断となっております。世の中の様々なことが変わっていって、我々の運営体制もそうですし、働き方が変わっていく中で、土曜日の 17 時であったり、金曜日の 18 時であったり、日曜日のナイトゲームであったりというのも考えられるのかなと思います。現時点では我々としてはそのような考えであります。今年もまさに日程調整中ですので、いただいたご意見も含めて検討させていただきます。

次のご質問（ご意見）です。

『SNS などの投稿で音が聞こえづらい、手振れなどで見えづらいということで改善してほしい。』

というご意見を頂戴いたしました。
こちらに関してはおっしゃる通りでございますので、広報と共有をして、改善できるようにしたいと思います。

次の質問（ご要望）です。

『ホームゲームのヴァン太ショップの会計をスムーズにしてほしいです。』

とのご要望いただきました。
ご不便をおかけして申し訳ございません。
我々スタッフも限られた人数で一生懸命対応させていただいていると思いますけれども、一方で改善できる部分もたくさんあるかなと同時に感じておりますので情報を整理して改善していけるようにしたいと思います。

次のご質問です。

『転売についてクラブの対応をお聞かせ下さい。』

とのことですが、
こちらも私の方で回答させていただくと選手たちが気持ちを込めて書いたサインの入ったタオルマフラーやユニフォームなどを転売はして欲しくないなというのが大前提にベースであります。顧問弁護士ともこの件は相談をさせていただいていて、どのように防いでいくか、法的に対応すると言うのは少し難しいところもありながらもあらかじめ我々の方でプレゼント企画等をやる際に注意事項など明記するなど事前の約束事等はできるかなと考えております。

次のご質問です。

『チームバスの準備はしないのでしょうか？』

こちらは下平が回答いたします。

【下平】
今この件に関して予算など、さまざまなことも絡みますので、考えていないわけでは無いのですが、具体的に何かもう既に進んでいることがあるかと言ったら、今のところはないと言うような状況です。今後に向けて優先順位をいろいろ考えながら進めていかなければと思っております。

【菅原】
次のご質問です。

『J2 ライセンスについて、スタジアムの改修など、どのようになっているかお答えできる範囲でお願いします。』

こちらも下平より回答いたします。

【下平】
J2 ライセンスにつきましては、昇格を目指してやっておりますので、申請するというところでございます。ライセンスを取得出来るように、また全力で努めていきたいと思います。スタジアムに関しても現在協議段階でございます。確定次第、リリースさせていただくということになると思いますが、しっかりとこの先を見据えて検討させていただいているということをここで報告させていただきたいと思います。もちろん公式で発表するタイミングが来たら正式に発表させていただきたいと思います。

【菅原】
次の質問です。

『選手にサッカーのみに専念させることはできないでしょうか？』

こちらも下平より回答いたします。

【下平】
質問の内容とずれてしまったら申し訳ないのですが、もちろんサッカー選手としてサッカーだけに専念すると言うのは大事なことだと認識しております。ただ、サッカー選手として契約する上でクラブの一員となって、地域貢献活動やクラブ内の活動を行う上で力を貸していただくと言うのは、私たちのクラブに限ったことでは無いのかなと思っておりますし、他のクラブも当たり前に行っているものと認識しております。またその活動が選手にとって成長する一環になるものではないかなと思っております。それはクラブの理念につながってくるものと思っておりますし、続けていきたいなと思っております。ただし、他社で仕事をしながら選手として戦っている選手も数名います。そこに関しても、私たちが一方的に仕事をしなさいと決めているわけではなくて、選手たちが納得をして契約をしているということになっております。ただし、先ほども申しました通り、もっとサッカーに集中できるような環境を提供するというのが私たちクラブの成長につながってくると思っております

ので、私たちが努力する部分だと認識しております。

【菅原】
皆様からいただきましたご質問は以上になります。ありがとうございました。
ここからは今ご説明させていただいた内容、その他ご質問があれば質疑応答にて進めていきたと思いますが、何かご質問等ある方は挙手の方、お願いいたします。

【出席者】
この後、新体制発表があると思いますが、早期ファンクラブ入会者のみという形になっているのですが、今後は制限をつけずに見ていただいた方が良いのかと思いますが、いかがでしょうか。
【菅原】
ありがとうございます。おっしゃるとおりで本来であれば場所を借りて皆さんで集まってという形が望ましいかなと思っていました。しかしながら我々の準備不足もあり、広い会場を抑えられないこともあり、事業部内で話し合った中で、県内外のサポーターの方のことも総合的に考えた上で今回は YouTube という形で配信するという形で、早期でファンクラブに入っていただいた方は全て平等だと我々は思っておりますので、今回はこのように対応させていただきました。来年以降はまた検討していきたいと思います。

【出席者】
スタジアムでご飯を食べる席数が少ないのと、（食事をとるための）屋根が欲しいです。

【菅原】
それも私の方で回答させていただきます。
食事するスペースは確かに少ないと思っているので、こちらは増やすように努力していきます。屋根に関しては考えなければいけないことがあって、私たちが恐れているのは風でテントが飛んでしまったり、ものが飛んでしまったりして、お客様が怪我をされてしまうということです。常駐できるスタッフがいれば対応できるかと思うのですが、限られた人数でやっている中だと手が回らないと言うところもあって、比較的テントを出さない試合が多いのですが、天気が良ければ準備をするということも検討し、状況を見ながら進めて参ります。

【出席者】
中期的なビジョンは何かあるのでしょうか。J3 にあがって 5 年目で監督が 5 人目で毎年 10 人ほどメンバーが変わっていくと言うところに、毎年上りますなのか、中長期的なビジョンがあるのか、そこはお聞かせ願いたいです。

【下平】
もちろん中長期のビジョンは大事です。クラブ理念を遂行して、目の前の試合を一つ一つ勝ちに行くということに関しては、クラブ設立から全くぶれているつもりはありません。監督、選手の件に関するご指摘、問題など様々あるかと思いますが、真摯に受け止めて今後に活かして参りたいと思います。一方で例えば『今年の成績は 8 位』という風に定めるつもりはなく、我々が 1 つ階段を登れる状況にあるのであれば理念を遂行し、やはりそこを全力で突き進むというのが私たちのスタイルであるということを理解していただきたいと思います。

【出席者】
試合のときのバックスタンドやゴール裏の警備員の人を増やしてほしいと思います。

【菅原】
ありがとうございます。特にコロナでの制限もある中で検討していきます。限られた予算の中でどのように進めていくか、検討いたします。

【出席者】
契約満了ではなくて、選手が移籍した場合は、ヴァンラーレ側にお金は入っているものですか。
【下平】
その件に関しては、契約の内容によってきます。従って、この選手が移籍したからいくら入ってきましたということは言えることではないのですが、そのような仕組みは業界全体にありますので、それに従ってこのような契約であれば移籍金と呼ばれるものをいただく事はどのクラブもあります。ただ、このようにならないケースもあります。ケースバイケースだと思います。

【出席者】
シーズンの後期から音響の音割れが発生していますが、改修の見込みはあるのかと言うのをお聞きしたいです。
【菅原】
ありがとうございます。メインスタンドのスピーカーが今、壊れているところです。海が近いので潮風などの影響で劣化が早くなっているため、そこに関しては修繕をかけているところです。聞こえづらいなどあればお近くのスタッフに伝えていただければ我々も対応したいと思います。

【出席者】

他のクラブを見ていると大型ビジョンの上か下にネーミングが入っても良いのではないかというのが気がかりです。

【下平】
他のスタジアムを見ると結構あると思います。ただ、このスタジアムができた時、クラブ側が単体で広告を取れた方が良いのではないかということになりつけていないというのが現状です。このスタジアムは市の持ち物なので、広告をつけられる場所を市が決めているということで、その部分を了承していないという事ですので、どちらかと言うと大型ビジョンの中で広告を出していくことが我々にとってプラスになるのではないかと言う判断もあります。

【出席者】
このコロナ禍の中でも、イベントが楽しかったです。いつも来ている人は楽しいのですが、外に発信するシステムというか、SNS 以外でもこんなに楽しいということを伝えられればもっと集客ができるし、相手チームのサポーターさんも呼べると思います。うまく発信ができればもっともっと増えると思います。

【菅原】
ありがとうございます。これについては我々の長年の課題であると痛感しているところです。これからもっと集客をしていく中で、ライト層の方にどれだけアタックできるかとなったときに、SNS も活用させていただきますが、その他に何をどのように、どのタイミングで情報を出すのかはいつも考えてさせられます。紙面やテレビなど今年は様々な変化が入る予定となっております。詳細は控えさせていただきますが、そういったところでライトな方々、アウェイの方々にも届けていければなと考えております。このあたりの広報も頑張っていきたいと思います。皆さんの SNS などもご協力いただきながら、こんなイベントが楽しかったなどプラスな面で使っていただけると我々としても大変ありがたいなと思いますので、引き続きお願いいたします。

【出席者】
2019 年に FC 東京のイベントに行った際、同窓会的な感じで、在住の方たちが地元のチームが上がったと言う感じで集まっていた声があったので、同窓会的な絡みでもいいのかなと、うまく繋がれられればと思いました。

【菅原】

我々も以前はそのような会に参加させていただいたこともありますので、いろいろな方々とつながらせていただきながら、積極的に足を動かして進めていきたいなと思います。

【出席者】
昨年のファン感謝会が YouTube 配信になった理由を教えてください。

【菅原】
本来であれば皆さんと選手と交えて直接触れ合えるものにしたいという気持ちはあったのですが、大きな理由としてファン感謝祭のあとにトライアウトを控えていましたので、そこで選手が体調を優先させ YouTube 配信をする判断しました。この状況が落ち着けば皆さんと触れ合えるファン感謝祭を作りたいなと考えております。

【出席者】
選手のグッズに関して、宣材写真で統一した方が、プレーできていない選手を好きな人も私のだけ違うとならないので良いのかなと思います。

【菅原】
ありがとうございます。貴重なご意見だと思いますので、グッズを作るときに頭の中に入れながら進めたいと思います。

【出席者】
担架にスポンサーをつけるという考えはあったりしますか。

【菅原】
他のクラブさんもやられているのは私も知っていますが、現状はありません。理由は 2 つあって、スタジアムの形状の問題なのですが、近いが故に見えづらいというのか 1 つです。また、担架の稼働が少ないので、そこに広告価値を生み出すのが現時点では難しいと考えています。

【出席者】
駐車場についてです。試合の前にイベントでサッカー教室などがあるとすごい駐車場が混んでいるなというイメージがあります。初めて来た方などもこんなに歩くのと言うイメージになってしまうと思うので、改善してほしいです。
【菅原】
ありがとうございます。そこに関しては、アナウンスの仕方を工夫しなければいけないなと

考えています。完全にセパレートするのは少し難しいかなと思います。大会に参加する方に事前にアナウンスする事はできると思いますので、前向きに検討したいと思います。
貴重なご意見ありがとうございます。

【出席者】
ファンクラブが昨年までは 10 万円のコースがあったと思いますが、今年なくなったのはつけられる特典がないからでしょうか。

【菅原】
ファンクラブの特典のところでいくと、10 万円の価値をどのようにつけていくかというところと、どちらかと言うとより多くの方にファンクラブへ入会してほしいとの思いがあり、毎年、前年のものをベースとしながらどうするかと言うことを考えていて、今年はそのコースは無しとさせていただきました。

【出席者】
ファンクラブ特典の駐車場は、専用出入り口がある位あっても良いと思います。駐車場は近いけど出にくいなと、むしろ時間がかかってしまう時もあります。

【菅原】
ここが私たちの弱点で、今の駐車場の制度も本来であれば警備員を 1 人つけて行わなければいけないと思います。限られた人数の中でやっておりますが、お金をいただいている以上、最大限できることをということで改善していかなければいけないなと考えています。
おっしゃっている事は本筋だと思いますので、徐々に改善していけるよう努めて参ります。

【出席者】
ヴァン太がアウェイに行く、行かないの基準は何かありますか。

【菅原】
物理的に行けるかどうかというところです。稀に相手チームからヴァン太来ませんか？とお声掛けいただくこともありますが、それに関しても物理的に行けるかどうかというのが大きいです。

【出席者】
マスコット同士でわちゃわちゃしているのは、マスコット好きは盛り上がっているので、需要はあると思うのですが、行く時と行かない時があるのでどうなのかなと思っていました。

【菅原】
ありがとうございます。極論を言えば全部連れて行きたいと思っております。ただ、ヴァン太も忙しいので、距離的に行けるところと行けないところがあるので、スケジュールを調整しながら検討していきます。ヴァン太が行く際のアナウンスを早めに出していかなければというのは感じていたので、その点は改善して参ります。今年は東北のチームもあるので少し稼働が増えると思います。

【出席者】
去年の福島県のバスツアー、フォーラム八戸でのパブリックビューイング、すごい素晴らしかったし良かったなと思っていました。来年もぜひアウェイ戦でのイベントやツアーをやってもらいたいなと思っています。

【菅原】
ありがとうございます。我々も引き続き開催できるよう、準備をしていきます。

【出席者】
長年応援しているとタオルマフラーなどがどんどん増えて、グッズの購買意欲が低下していたのですが、食品関係等のコラボ商品は、おばちゃんたちは特にこっちのほうに食いつくので、たくさん買ってしまいます。今年も何か予定はありますか。

【菅原】
現状では増えますというようなお話はできませんが、相手があってのことなので、地域の素敵な商品とコラボして販売っていくというのは私たちのクラブの理念の中にもある地域の役に立つと言うことができていると思うので、機会があればぜひ積極的に続けていきたいと強く思っています。

【出席者】
アウェイ戦のパブリックビューイングの予定はありますか。もしあるのであれば「マチニワ」や「はっち」とか、公共の施設を使って一般の人も見られるような形でやればいいと思います。
【菅原】
昨年もパブリックビューイングをマチニワでやる計画をしていたのですが、コロナが増えてスクランブルの状態でやるのは危険だなと判断をして中止の運びとなりました。その変わり急遽、福島戦のツアーをやると言う判断にしました。おっしゃるとおりでパブリックを

やりたいなと考えています。市内施設も週末の予約が早々に埋まってしまうので、早めに準備をしてやりたいなと思います。

【出席者】
ホームタウン応援大使の活動なのですが、選手の契約などもあると思うので難しいとは思いますが、素晴らしい取り組みだと思うので来年以降も続けていただきたいです。

【菅原】
ありがとうございます。ホームタウンの活動で少し具体的な話をすると、昨年初めて応援大使の活動をさせていただきました。他のクラブさんを真似させていただいたと言うところで、1 年間やってみてわかったのは、選手たちも担当の市町村に愛着を持ったと思いますし、市町村の方々も選手を覚えてくださったり、その選手に（イベントなどに）来てほしいとありがたいお言葉をいただきました。どこまでお役に立てたかと言うのは数値化するのは難しいですが、昨年は 130 回ほど活動ができておりましたので、今年はさらに積み重ねていけるようにしていきます。選手によって稼働日数がバラバラになってしまうのは私たちも課題だと感じておりますので、全選手平等とまでは難しいですが、改善できるように努めていきます。

【出席者】
今シーズンから降格があると思います。全員落ちたくないと思っていると思いますが、昨シーズンの前半を見ると危機感を持ってやらなければいけないと思います。

【下平】
もちろんその危機感は持たなければいけません。それに打ち勝てるような組織作り、チーム作りをしていくということを、ここでお約束させていただきます。皆さんも一緒に戦っていきましょう。

【出席者】
福島戦バスツアーは、急遽決まったと思うのですが、イベントがあればできるだけ早く情報をだしてほしいです。

【菅原】
先ほどご説明した通りで、我々もパブリックビューイングを中止してバスツアーを組むと言う対応をしたことがなかったので、お仕事の関係で行けない方もいるだろうなと言う事は考えておりましたが、何もやらないよりは動こうと言うことでした。アウェイへのバスツ

アーに関しては、たくさんの方に参加いただかなければやる意味がないのでなるべく早くお伝えできるようにします。日程が決まればこちらも準備をしていくと言うことになっているので、少しお待ちください。

ご質問等がないようですので、最後に弊社会長 細越からひと言ご挨拶させていただき、カンファレンスを終了したいと思います。

【細越】
皆さんこんにちは。
日曜日のお忙しい時間、天気も悪い中、お集まりいただきまして本当にありがとうございます。また、事前質問も全て拝見させていただいて、クラブにとって皆さんが本当に真摯に向き合っていただいていると感じましたし、事前質問や今回の質疑の中でも私たちが気づかせて頂いたこともたくさんありました。
本日の回答に関しては後ほど議事録にてホームページにアップしますけれども、守秘義務等の関係で細かくお伝えできない部分など、皆さんの中にも少し歯がゆい思いのある方もいらっしゃるかと思いますが、私たちとしてはできる限りのご対応はさせていただいたかなと思います。
SNS に関しても、今後も叱咤激励を含めた多くの投稿をお願いしたいと思います。誹謗中傷のところに関しては、皆様の中でどういう風に感じているか分かりませんが、一般に公開されているものと個人に直接メッセージが行くなど、様々なことがあると思います。だとしてもクラブに対するご意見は是非頂戴したいと思いますので、これからも継続していただければと思います。
また、私たちは常に短期的には常に昇格を目指しています。その先に将来ヴァンラーレ八戸がＪ1 優勝をする、日本代表の選手を出す等、いろいろなことを考えて進んでいきます。それは皆様の想いと変わりがないと思います。
今年 1 年も定めた目標をクリアしていくべく、明日からチームも始動致します。皆様と共に次のステージに上がっていけるように、今後もまた多くの声をいただければと思います。
本日は本当にありがとうございました。